

2016年
映画製作委員会 最新作2作

最後の活動弁士

井上陽一の世界

活動写真が弁士の語りで蘇る！



活動弁士 井上陽一

井上陽一は浜星波に師事した最後の活動弁士です。映写技師をする傍ら、弁士の修行を重ね、1979年にデビューします。北は北海道夕張映画祭から南は鹿児島まで全国各地から依頼を受けて、現在までに500回を超える口演を行ってきました。

阪妻が、アラカンが、千恵蔵が、活動弁士井上陽一の語りによって鮮やかに蘇ります。和洋合奏団付きや公民館などの小さな上映会のときは、カセット持参で一人何役もこなしながら語るその姿は、観客を魅了します。関西独特の七五調の語り口、活動弁士井上陽一の魅力を探ります。

2016年 日本 デジタル カラー 46分
製作・企画／鶴久森典妙
監督／高橋一郎 撮影／原ひろし
お問合わせ 映画製作委員会 TEL/FAX 06-6110-5059

ハンセン病後遺症とは

～適切な医療・介護を提供するために～



ハンセン病歴を明かして、安心して受けられる医療・介護を

ハンセン病療養所退所者や、療養所入所歴のないハンセン病回復者は約3千人いると言われています。しかし、地域におけるハンセン病後遺症の治療や再発に関する医療提供体制は未だ十分に整備されているとはいえない状況です。

「ハンセン病」「ハンセン病に伴う後遺症」についてはすでに保険病名として認められて

いますが、回復者の方々はほとんどハンセン病歴を明かせない状況です。それは、過去に受けた厳しい差別が今もあり、家族にすら隠している人もいるからです。ハンセン病後遺症を知り、適切な医療・介護を提供するためにぜひご覧ください。2016年/42分/カラー

お問合わせ 社会福祉法人 豊財団 大阪府済生会
ハンセン病回復者支援センター
TEL 06-7506-9424